

鯖江市議会報

第255号

令和7年
11月25日発行

- 第452回9月定例会・・・・・・・・・・2
- ここが聞きたい！一般質問・・・・・・・・8
- 中学生の職場体験・・・・・・・・・・13
- 委員会で先進地を視察しました・・14

鯖江市議会を
もっと詳しく！



【今号の表紙】

福井ブローウィンズ大好きNori さん提供
西山公園(嚮陽庭園) 家族で紅葉

東井議員 議案第52号と議案第65号についての質疑

質疑

Q	A
不具合によるラポーゼかわだのボイラー更新について、今回は何台更新するのか。ボイラーの更新以外の工事は。	今回更新するのは、経年劣化が見られる2台。また、温泉水を湯沸かしするボイラーの配管周りを併せて更新する予定。
第3期鯖江市地域公共交通計画の策定に当たり、市としての方針は。	これまでの交通計画を基本とし、今後実施予定の利用者アンケートを基に、地域住民の利便性向上につながるよう、鯖江市地域公共交通活性化協議会の中で議論していく。
NHK受信料未契約報告分について、加算金は発生しているのか。	今回の未契約分に関して、遅延金や割増金などの加算金は発生していない。
地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律(地域経済牽引事業促進法)に基づく市税条例の特例に関する条例の目的と今回一部改正に至った経緯は。	地域での企業の立地や設備投資を促進するため、要件を満たす対象施設への優遇措置として、固定資産税の課税免除を3年間行う。今回、地域経済牽引事業促進法が改正されたことにより、課税免除の適用期限を延長する。

石川議員『ハローワークを移転するための設計に対する予算について反対』

反対討論

嚮陽会館の複合化については、内容変更があまりにも多く、基本構想や基本設計の内容に疑問があったが、議論を重ねる中で理解できるところも多く、実施設計の当初予算には賛成した。しかし、実施設計の段階でハローワークの移転という大きな変更が出てきて、それに係る整備予算の概算も示されていない。本来ならば、基本構想の段階で周辺の状況を調査する中で検討すべきことである。施設の複合化自体には反対ではないが、このような状況下では良いものができるとは思えず、運営にも不安がある。いま一度立ち止まって計画の内容を検証する中で、おかしいことは是正すべきである。

表決が分かれた案件

議案番号	三村尚司	田中良幸	加藤優	土田光	堀川秀樹	西野有香	東井忠義	酒井友季子	林下豊彦	江端一高	大門嘉和	空美英	福原敏弘	佐々木一弥	遠藤隆	帰山明朗	石川修	木村愛子	末本幸夫	玉邑哲雄	議決結果
議案第52号	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	×	×	○	○	可決

※佐々木議長は採決に加わっていません。 ○=賛成 ×=反対

9月定例会では、市提出議案9件を総務委員会、産業建設委員会、教育民生委員会、嚮陽会館複合交流施設整備特別委員会にて審議しました。

補正予算

可決

議案第52号 令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)・・・1億5,110万円

主な事業	補正額	内容
施設整備・維持補修事業	約3,157万円	○ 鯖江東幼稚園の閉園後に児童センターとして整備するための改修工事に係る実施設計 【スケジュール】 実施設計: R7.10～R8.3 改修工事: R8. 4～R9.3 ○ ハローワークプラザさばえをワイプラザ鯖江店内に移転するための改修工事に係る実施設計 【スケジュール】 実施設計: R7.10～12 改修工事: R8. 1～ 3 移転準備: R8. 4～ 5 ○ 北鯖江駅駐輪場の増設工事 ○ ラポーゼかわだのボイラー更新と配管整備
まちづくり・鳥獣害対策事業	約1,028万円	○ 第3期地域公共交通計画に向けた関連調査業務の委託 ○ 鯖江まちなか交流・にぎわい協議会の設立に向けた幹事会と各分科会の開催 ○ シカなどに対する捕獲業務等やクマ、サルなどに対するパトロール業務の拡充
補助金・交付金等	4,850万円	○ 指導計画や保育日誌、登園降園管理等のICTツールのうち5つ以上導入している市内私立保育所・こども園への補助 ○ 令和6年度に行った所得税・個人住民税の減税および減税補足分の給付金の支給に対する不足額の給付
その他	約6,075万円	○ 市役所3、4階の部署へのフリーアドレスの導入 ○ テレビ・公用車のカーナビのNHK受信料(新規契約数: テレビ65台、カーナビ13台) ○ 市借地の農地に対する返還対象範囲の測量、詳細設計、土地返還に必要な農地整備 ○ 法人の決算、確定申告に伴う還付金 ○ 指定管理施設における賃金スライド制度の導入

問 育児休業の制度を拡充しても、利用できる体制が整備されていなければ利用は進まないのでは。利用促進に向け取り組んでいることはあるか。

答 鯖江市職員定員管理方針に基づき、職員定数を20名増員した。特に保育現場では、正規職員を6名増員するなど、制度を安定的に利用できる体制の強化を進めている。



産業建設委員会

【議案第52号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)

地域公共交通計画の策定について

640万円

説明 令和9年4月から5年間の地域公共交通計画と利便増進実施計画を策定する。地域公共交通計画はすべての自治体の努力義務とされており、本市でも平成28年度から令和3年度までの第1期計画、令和4年度から8年度までの第2期計画を策定している。また、本市ではつつじバスの運行に当たり国から毎年約1,400万円の補助を受けており、その補助対象となる福鉄バス鯖浦線との接続について、バス系統の位置付けや役割、必要性等を地域公共交通計画に記載する必要がある。

問 つつじバスの広告収入の内訳は。

答 車体に企業広告を施したラッピングバスの広告料は1台50万円であり、鯖江村田製作所のラッピングバス2台分の広告料とそのほかの企業等の広告料を合わせて、令和6年度は約125万円の収入となった。

意見 鯖江村田製作所のほかにもPRを強化したいと考える企業があるかもしれない。つつじバスをまちなかで発信できる大きな広告媒体として打ち出すことで、広告収入の向上を目指してはどうか。地域公共交通計画の策定に当たって、情報発信ニーズのある企業を獲得するために、宣伝・広告を統括できるような組織の体制づくりに向けて検討してほしい。

【議案第52号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)

鯖江まちなか交流・にぎわい協議会について

100万円

説明 中心市街地を活性化させ、まちなかに新たな交流とにぎわいを創出することを目的に、市と鯖江商工会議所、一般社団法人鯖江観光協会、産業界や各種団体等が連携し、鯖江まちなか交流・にぎわい協議会を立ち上げる。組織体制として、協議会に分科会を取りまとめる幹事会を設置し、さらに中心市街地、鯖江駅、産業観光・交流の3つの分科会を設け、テーマごとに具体的な方向性を検討する。産・官・学や多様な主体が連携し、まちづくりを進めるプレーヤーを支える基盤として機能させる。将来的には、まちづくり会社の設立やファンドの創設も視野に入れ、中心市街地の空洞化への対応、鯖江駅周辺整備、産業観光の推進など、まちなか全体の魅力向上に向けた取組を加速させたい。

問 分科会のメンバーに含まれる学識経験者はどのような人を想定しているのか。

答 主に県内の大学機関の研究者。分科会を何回か繰り返す中で、その都度、適任の方に参加していただきたいと考えている。



問 まちづくりを進めるメンバーが固定化してきているように感じる。分科会を複数設けたとしても、メンバーや議論の方向性が同一では、分科会設置の意義が十分に発揮されない可能性があるが。

答 新たに協議会を設置し、幅広くより多くの意見を聴取することで、まちづくりに参画する新たな人材の発掘につなげる契機にしたいと考えている。

議案に関する委員会審議

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。



総務委員会

【議案第52号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)

NHK受信料の未契約報告分の支払いに係る経費を補正予算で計上

1,304万円

説明 本年4月にNHK福井放送局から受信料契約状況の調査依頼を受け、すべてのテレビおよび公用車のテレビ受信装置の契約状況を確認した結果、78件について未契約であることが判明。原因としては一般家庭の契約と異なり、事業所においては受信機の設置箇所ごとの契約が必要であるとの認識が不足しており、全国の自治体において同様の事案が明らかになっている。今後、速やかに支払いの手続きを行い、設置の必要性や台数の精査を行うとともに、免除対象の可能性のある施設について1か所でも多く免除となるよう協議していく。

問 学校や公民館の事務室については、災害時の情報を得るために免除対象とならないのか。また、避難所開設の際にのみ使用するテレビの支払義務についても免除対象とならないかなど、NHK側と今後交渉して欲しい。

答 児童や生徒が使用する各教室のテレビは免除対象となるが、職員室のテレビは免除対象とならない。全国知事会の席上や他の自治体でも話題となっており、市としても、県内9市の副市長会で話題を出しており、今後の動向を注視していきたい。

【議案第52号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第3号)

指定管理者制度における賃金スライド制度の導入による補正額を計上

129万円

説明 昨今の賃上げ動向を踏まえ、指定管理者の健全経営の確保、指定管理施設の持続的なサービスの維持向上を図るため導入する。前年度人件費実績額に前年度の官民格差を掛けて算出される額をスライド上限額としている。

問 賃金スライド制度の導入は理解できるが、事業の取捨選択をする中で、当然、増やす分も減らす分も作っていく必要がある。指定管理者制度における今後の具体的な考えは。

答 今回、官民格差の率を基準としており、昨今の動向を踏まえると想定されにくいのが、減額も盛り込んでいる。基準の明確化や算出方法等について先進自治体を研究し、今後の一斉更新に向けて取り組んでいく。

意見 指定管理者制度が導入されて以降、おおむね前例踏襲し指定管理料を算出してきたのが現状と思う。今後精査する中で、競争原理が働くように工夫して取り組んでもらいたい。

【議案第62号】鯖江市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

柔軟な働き方を実現し、誰もが育児に関わることができるよう職員の勤務条件に関する制度を拡充

説明 育児休業制度の中の部分休業に関する改正であり、部分休業は、子が未就学児の間、請求があれば勤務時間の一部を勤務しないことができる制度。1日につき2時間までの部分休業に加え、新たに1年につき10日までの部分休業の選択肢が加わり、職員はいずれかを選択できる。10日間続けて休業しないことも、1時間単位での休業も可能。

合計 114 万 3,000 円を見込んでいる。今年度末までに改修工事を完了させた後、嚮陽会館が一時閉館となる令和8年6月からワイプラザ鯖江店内においてハローワークの事業が開始できるよう進めていきたい。

問 この移転に伴う、市とハローワークの費用負担をどのように考えているのか。

答 移転先のハード整備については市が負担するが、ハローワークの事業実施に伴い必要となる専用回線の整備や備品等の調達に係る費用は、ハローワークが負担することとしている。

問 予定しているアスベスト調査の具体的な内容や方法はどのようなものか。また、調査を行っている期間に、ワイプラザ鯖江店の営業を休止しなければならないような懸念はないのか。

答 アスベストが直接吹き付けられている部分はないものの、現在の基準値を超えるアスベストが含まれた建築資材を使用している可能性がある。移転予定場所の天井や壁、床の資材において、仕様が異なるものが5つあるため、それらをサンプル採取し調査を実施する。

調査に当たっては、作業従事者が防塵マスクを着用し、資材を慎重に取り外すなどの安全対策は必要であるが、店内を広域的に囲い込むなどの措置は想定しておらず、営業を休止することには至らないと考えている。



議案と議決結果

議案番号	件 名	議決結果
【8月27日提出・9月19日議決】		
議案第52号	令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第53号	令和7年度鯖江市水道事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第62号	鯖江市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	〃
議案第63号	鯖江市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
議案第64号	鯖江市税条例の一部改正について	〃
議案第65号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく市税条例の特例に関する条例の一部改正について	〃
議案第66号	鯖江中学校屋内運動場・柔剣道場長寿命化改修工事（建築工事）請負契約の締結について	〃
議案第67号	重要文化財旧瓜生家住宅保存修理工事請負契約の締結について	〃
議案第68号	覚書等履行請求事件の和解について	〃

【8月27日提出・9月定例会後の継続審査（12月定例会で議決予定）】

議案第54号	令和6年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
議案第55号	令和6年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
議案第56号	令和6年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
議案第57号	令和6年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
議案第58号	令和6年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
議案第59号	令和6年度鯖江市水道事業会計決算の認定について	〃
議案第60号	令和6年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について	〃
議案第61号	令和6年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について	〃

議案に関する委員会審議

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。



教育民生委員会

【議案第52号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第3号）

650万円

保育士確保・定着支援事業について

説明 保育士が安心して長く働き続けられる職場環境を整えることを目的とした、県の「保育の職場づくり総合対策事業」の追加メニューであるICT等活用推進報奨金を活用するものであり、各園が保育士の業務改善につながるICTツールとして、指導計画や保育日誌、保護者との連絡、登園降園管理等、5つ以上のツールを導入している市内の私立保育所やこども園を対象に補助を行う。ツールを活用することによって欠席者の把握や電話対応、伝言のやり取りといった手間が減り、保育士の業務負担が軽減されることで、保育士が子どもと向き合う時間が増え、保育の質の向上にもつながることが期待される。

問 ICTツールをすでに導入している園のみが補助対象で、これから導入を考えている園は今年度対象としないのか。

答 さらにICTツールを導入している園だけでなくこれから導入しようとしている園も今年度中に導入すれば補助の対象になる。

【議案第67号】

重要文化財 旧瓜生家住宅保存修理工事請負契約の締結について

説明 国の重要文化財であり、1699年に建てられた県内最古級の民家である旧瓜生家住宅の保存修理工事。経年劣化による茅葺き屋根の葺き替えのほか、建物全体にひずみや沈下が生じているため、耐震補強を含めた修理を行う。工期は今年度から令和9年度までの3年間のうち、合計28か月を予定しており、工事期間中には、地元の児童や市民を対象とした、現場見学会や茅葺き体験等も計画したいと考えている。本事業は、国庫補助事業であり契約金額は2億3,051万円余で、岐阜県の請負業者に決定している。

問 岐阜県の事業者が請負業者となっているが、福井県内に国の重要文化財を修理できる業者はいないのか。

においては、国が認めた選定保存技術の保持者や保存団体に属するもの等を使用しなければならないという定めがあり、その中に今回の修理工事において請負可能な福井県内の事業者は存在しない。

答 国庫補助事業であるため、伝統技術が必要な工事

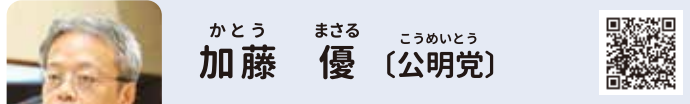
嚮陽会館複合交流施設整備特別委員会

【議案第52号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第3号）

約114万円

ハローワークプラザさばえをワイプラザ鯖江店に移転する設計費用を審査

説明 今後、嚮陽会館複合交流施設整備を進めていく中で、現在 嚮陽会館内にあるハローワークプラザさばえについては、西側に隣接するワイプラザ鯖江店内への移転を予定している。これに伴い、移転先整備に伴う実施設計の委託料として100万円を、また、5か所のアスベスト事前調査費として14万3,000円、



認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

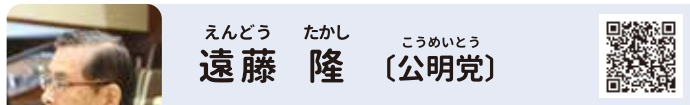
問 認知症に関する知識および認知症の人に関する理解を深める取組を強化すべきと考えるが。

答 認知症サポーター養成講座の8月末時点でのサポーター数は累積9,630人となっている。町内会、警察署、介護サービス事業所、民間企業、市役所などのほか、近年は若い世代への開催に取り組んでおり、昨年度では鯖江高校で58人の生徒が、今年8月には児童センターで25人の児童がサポーターとなっている。また、今年3月に新しい認知症観を定着させるため、認知症フォーラム in 鯖江を開催し、若年性認

知症の当事者による講演や、市民、医療、行政関係者によるディスカッションを通じて、認知症に対する新しい理解と共生の在り方を市民と共に考える機会を設けた。

問 認知症の人の行方不明者対策の強化は。

答 鯖江市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業は平成26年度から実施しており、8月末時点の登録者は67人となっている。無事保護された例もあるが、実際に警察に保護された高齢者は登録されていないことが多いということが課題である。次に、令和2年度からどこシル伝言板を開始しており、QRコードつきの高齢者見守りシールを衣類や持ち物に貼りつけることで、発見時の身元確認を容易にする仕組みを導入し、登録者は34人となっている。登録者数の伸び悩みが課題である。また、市民への周知が行き届いていない。



移住支援事業と定住支援事業の進捗について

問 鯖江市は全国の地方と同様に人口減少と少子高齢化が進んでおり、このままでは労働力不足・産業の担い手不足・地域コミュニティの衰退等、深刻な課題に近い将来直面する。新しい人を呼び込むための移住支援と、鯖江に住んでいる若い人をつなぎとめるための定住支援は、鯖江市の未来を守るための投資である。これらの事業の進捗状況は。

答 市では、県と連携しながら新ふくい人の招致に積極的に取り組んでいる。市や県の支援を受けてU・Iターンされた新ふくい人の数は、令和6年度は126名で、前年度の162名から

は減少しているが、市が把握している平成27年度の42名からは大幅な増加となっている。関東圏からの移住者は、22名から50名へと約2.3倍、関西圏は26名から35名へと約1.3倍となっていて、着実に増加している。転入世帯の状況は、66世帯中54世帯、約8割がIターン世帯であり、県全体の7割よりも多くなっており、本市を新たな生活の拠点として選んでいただいた状況がうかがえる。今後も、若年層や子育て世帯を中心とした移住・定住の促進に向けて、支援制度の充実と情報発信に努めたい。



居住支援協議会について

問 高齢で独り暮らしとなり、体調の変化や金銭的な状況も変化して古い住宅での居住継続が困難になる人が増えており、鯖江市でも居住に関する相談が増えていくと聞く。高齢者だけでなく低所得者や子育て世代、障がい者、被災者を含めた住宅確保要配慮者の居住支援は大きな課題である。またこれらの方々は、見守り支援や相談支援、生活面でのサポートなど、福祉支援も必要であることが多い。住宅部局と福祉部局、そして民間の住宅関連企業や福祉事業所が横断的に連携して支援に取り組む居住支援協議会が県内他市には発足しているが、鯖江市での取組はどうか。

答 令和7年10月には居住支援協議会の設置が努力義務化され、必要性が高まっている。住宅支援協議会設立も視野に入れ、福祉部局、住宅部局との連携を強化して、住まいと生活の両面から支援を行える体制を整えることで、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指したい。

意見 居住支援協議会の設立には社会福祉事業者、不動産事業者、そして居住支援法人(生活支援や見回り支援、連帯保証等をする民間企業)との連携が必要であり、鯖江市だけではその環境や条件が十分にはそろっていない。しかしながら、すでに設立された他自治体では、もう少し安心した環境を用意することができるようになったということもあり、鯖江市での早急な設立に向けた取組を強く強く要望する。

ここが聞きたい！

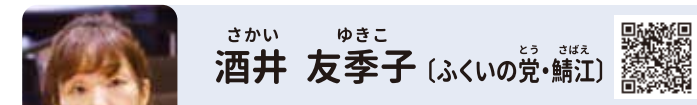
一般質問

一般質問とは？

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に対して考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。

ページ	質問者	質問内容	日程
P.8	さかい ゆきこ 酒井 友季子	1.駐輪場における放置自転車の対策と再利用の可能性について ／ 2.子育て世代の支援について ／ 3.P a y P a y等を活用した経済活性化キャンペーンの実施について	9/8 午前
P.9	かとう まさる 加藤 優	1.認知症の人に寄り添った地域社会の構築について ／ 2.フューチャー・デザインの積極的な活用について ／ 3.学校等におけるてんかん発作時の口腔用液の投与について	9/8 午後
	えんどう たかし 遠藤 隆	1.移住・定住支援政策事業における投資型政策の推進について	
P.10	はやしした とよひこ 林下 豊彦	1.鯖江市民への各種情報の周知徹底策について／ 2.居住支援協議会について	9/9 午前
	かえりやま あきお 帰山 明朗	1.鯖江まちなか交流・にぎわい協議会について ／ 2.米国の関税措置による地域経済への影響など ／ 3.最低賃金引上げによる地域経済への影響など	
	つちだ ひかる 土田 光	1.鯖江市の鳥獣害対策について／ 2.再生資源物の屋外保管について	
P.11	にし ゆか 西野 有香	1.各地区におけるまちづくり計画について／ 2.学童保育における利用環境改善について ／ 3.人口減少時代における業務改善と人材配置の最適化について	9/9 午後
	だいもん よしかず 大門 嘉和	1.鯖江市における新幹線開通とその後／ 2.レッサーパンダについて ／ 3.交通環境の整備について	
	きむら あいこ 木村 愛子	1.提案理由説明から／ 2.福祉事業について ／ 3.公共施設等について	
P.12	とうい ただよし 東井 忠義	1.重度障がい児(者)の支援について／ 2.コメ政策について ／ 3.歴史探訪とふるさと教育・観光ガイドについて	
	たなか よしゆき 田中 良幸	1.嚮陽会館の改修について ／ 2.災害時の避難場所について	

※質問内容のうち、青字で下線が引かれたタイトルは、次ページ以降に詳細を掲載しています。



駐輪場における放置自転車について

問 放置自転車は年間どのくらいあるのか。

答 市が管理している4つの駐輪場で、年間100台ほどの放置自転車を撤去処分している。

問 私が調査を行った北鯖江駅前駐輪場、および西口駐輪場は、現在は市の管轄となっていない。それらを含んでいない「鯖江市自転車駐車場設置および管理に関する条例」を改正すべきではないか。

答 条例改正に向けた検討を進めており、年度内に条例改正を目指し取り組んでいく。

保育所等での主食の提供について

問 鯖江市内の保育所等で完全給食(ご飯を含めた給食)の提供をしているところはどのくらいあるのか。

答 3歳未満児は全園で完全給食の提供を行っており、3歳以上児は私立3園で行っている。

問 福井県では「主食提供推進のための備品等購入支援事業」があり、完全給食を推進しようとしている。子どもの食育や衛生面、保護者の負担軽減も考慮し、市でも完全給食を検討してはどうか。

答 園の運営課題に対しても整理をしていく必要があり、よりよい方向性を見出すため検討していく。





だいもん

よしかず

せいせいかい

大門

嘉和

〔清鯖会〕



レッサーパンダによるまちおこし

問 ハピライン鯖江駅から西山動物園までを「パンダロード」として整備することを提案する。

この構想の基本コンセプトは、①レッサーパンダの聖地＝鯖江となるためのシンボル化。②鯖江駅から中心市街地、西山動物園を連携させた導線化。③通りを歩くだけで楽しめる体験型ストリートによる回遊化。④レッサーパンダ応援店制度を設け、関連商品の開発を促す商店街の活性化である。

「パンダロード」という名前自体がキャッチーで、観光案内にも使いやすく、子どもたちにとっては駅から動物園までの

歩くルートが、まるでレッサーパンダに会いに行く冒険となる。これらを実現させることにより、駅から動物園までのただの道を観光資源に変え、商店街と観光の両方を活性化させることが期待できるのではないか。

答 鯖江市では、眼鏡をテーマとしたシティプロモーション事業を展開してきた。こうした背景やこれまでの取組の成果、また知見なども踏まえながら、レッサーパンダを活用した新たな施策についても、様々な視点から検討していく。

このようなオブジェを
まちなかに配置して
楽しい歩行空間を演出





きむら

あいこ

しみんそうせいかい

木村

愛子

〔市民創世会〕



福祉事業について

問 特別支援学校卒業後の社会の受け皿について、市の見解は。

答 市では、市役所において特別支援学校を卒業した方を雇用している。高等部3年次には、本人の意向を確認しながら、行政・障がい者サービス支援事業者と連携した移行支援会議を開催している。本年度から鯖江市・越前町自立支援協議会を設置し、11月には、働く場となる社会資源を知ってもらうための就労支援事業所説明会の開催を予定している。

問 障がい者、放課後等デイサービスの気付きな子らの避難所について、市の対応は。

答 災害時には、全ての市民の命と安全が最優先である。集団生活が困難な方の避難支援は、指定避難所を基本としながら、

市内ホテル等の活用も視野に入れて、安心して避難生活を送れる環境確保に努める。

公共施設等について

問 まなべの館が総合的な博物館として充実するために、NPOセンターの跡地をどう考えるのか。もう検討を始めるべきでは。

答 施設全体の今後の在り方について、NPOセンター跡地の活用も含めて検討していく。

問 まなべの館、文化の館、文化センターは、子どもから高齢者までが集い、文化芸術を軸に教育行政の補完的立場の公共施設であるが、所見は。

答 教育長 公共性、継続性、専門性を考慮し、ふるさと愛や想像力豊かな人間性を育める、誰もがいつまでも学びと向き合える教育環境の整備に取り組む。



とうい

ただよし

しせいしんぶうかい

東井

忠義

〔市政新風会〕



「歴史や文化の薫り漂うさばえのまち」づくりを

問 ふるさとへの愛着を深めるためには、語り部の養成や歴史遺産を探訪する事業が有効であると思うが。

答 市が育てきた豊かな自然、歴史、伝統文化、先人が残した豊富な資産、宝を生かして、子どもから大人まで「ふるさとさばえに自信と誇りを持てる教育」を推進している。これまで、市内の歴史、文化遺産を紹介するウォーキングやバスツアーの開催、学芸員が地域や学校等で歴史や文化財などの解説を行う出前講座などを行っている。昨年度は出前講座を計45回開催し、1,381名の方に参加いただいた。市民の関心の高さを実感している。

問 市の観光地等をガイドする観光ボランティアの動向と養成はどうなっているのか。

答 養成については、令和5年度に観光ボランティアガイド養成講座を開催した。ただし、現在は観光ボランティアガイドの組織はない。観光ボランティアガイドの役割は極めて重要と認識しており、養成講座を受講された市民の方々と今年8月に意見交換会を実施した。今後、活動の広がりや質の向上を図りたい。

意見 新幹線駅もない、ハピラインふくいの鯖江駅には特急も停まらない現状の中で、それを逆手に取って、懐かしさ漂う風情のある田舎駅である鯖江駅を目指し、そしてまた、鯖江駅や国道8号線から西山公園まで、神社、古刹、古い建物、古い町並みや商店街を生かして、歴史や文化の薫り漂うまちづくりを行ってはどうか。



かえりやま

あきお

むしよそく

かい

帰山

明朗

〔無所属の会〕



今秋、鯖江商工会議所、鯖江市、鯖江観光協会などで、まちなかの新たな交流・にぎわい創出を目的に設立する組織「鯖江まちなか交流・にぎわい協議会」について

問 協議会を設立する理由は。

答 副市長 特急が停車しなくなった本市にとって、鯖江駅周辺やまちなか再生は急務。この協議会で官民が連携し、その実現のための方策を検討したい。

問 組織体制は。

答 副市長 協議会の中に幹事会のほか、中心市街地、鯖江駅、産業観光・交流の3つの分科会を設ける。分科会で出た意見や内容を取りまとめるのが幹事会の役目である。幹事会には県の交通まちづくりの担当部局長にも入っていただく。



つちだ

ひかる

ゆい

かい

土田

光

〔さばえ結の会〕



鯖江市の鳥獣害対策について



- ・くくりわなの成果について
- ・くくりわなの今後について
- ・緊急銃猟制度の今後の整備について
- ・持続可能な人材育成について

問 協議会のゴールは。まちづくり会社の設立を視野に入れる理由は。

答 副市長 まちなか再生、にぎわい創出、交流促進につなげられるよう官民が連携し応援する仕組みや体制を整えることがゴール。福井市や敦賀市では、まちなか活性化の新たな担い手として「まちづくり会社」を官民の出資で設立している。先行事例を参考に、設立も視野に関係者の議論を進めたい。

問 支援計画を実行するための財源となるファンド創設についても検討すべきでは。

答 副市長 福井市や敦賀市では空き店舗改修や店舗誘致のためファンドをつくっている。本市としても複数年度活動を切れ目なく財政支援をするファンド創設は1つの選択肢に十分なり得ると考える。

※詳しくは名前横のQRコードから
YouTubeをご覧ください。

再生資源物の屋外保管について



- ・市内の再生資源物屋外保管施設の数
- ・再生資源物の屋外保管に関する条例の整備について



にしの

ゆか

さばらぼ

西野

有香

〔SABA LABO〕



振替休日における午前中の学童受入れ

問 学校行事の振替休日に学童保育が午前中閉所のため、保護者は休暇取得や子どもだけの留守番、祖父母・友人への依頼などに苦慮している。祖父母の就労増加等もあり、多世代から午前中開所を求める声が多い。民間学童は対応、公立は未対応で格差がある。子どもの安全と家庭の安心のため、午前中開所の検討を。

答 授業日・長期休業中に学童保育を実施しているが、振替休日にも居場所を求める声を認識している。支援員の確保や勤務体制の調整など課題解決が必要であり、サポーター会との連携も視野に、午前中開所の可能性を検討する。

長期休暇中における学童保育での昼食提供

問 横浜市や川崎市、富士吉田市など、既に複数の自治体が長期休暇中の昼食提供を導入し、家庭負担軽減と栄養確保に成果を上げている。鯖江市でも同様の要望がある。市が給食センターや業者と包括契約を結ぶ実費負担方式やふるさと納税の活用で、市の直接補助なしでも実現可能。導入検討を。

答 長期休暇中の昼食提供は、民間保育園運営の2クラブのみが自園調理や配食を行っている。市運営の児童センター等では、調理体験や地域連携行事として年1回程度提供する例はあるが、基本は弁当持参。配食事業者の確保や保護者負担の在り方、欠席対応、アレルギー配慮、弁当管理、支援員の負担など課題が多く、実現可能性を検討する必要がある。

中学生の職場体験

鯖江中学校と中央中学校の生徒が職場体験に来られました。
議会の説明を聞いたり、議場を見学したりして、事務局の仕事を体験しました。
議長席に座って議長の体験もしていただきました！

職場体験の感想



議長席と局長席に座りました！



議長席で議会のシナリオを読みました！

あまり入れないところだから、わくわくしたり緊張したりしたけど、中に入ったらすごいと思いました。

議会の仕組みを詳しく聞いて、難しいことをしていてすごいと思いました。原稿を読ませてもらって、言いにくい言葉がたくさんで大変でした。

議場の床がふかふかでイメージと違っておもしろかったです。台詞を読んでみて、たくさん難しい言葉が出てきたので、政治って大変なんだなあと思いました。

初めて議長の席で「話す」ということができ、楽しかったし、字幕の性能もすごかったし、そもそもこういうところに来ること自体貴重な体験になって楽しかったです。

見てみよう！！

本会議

市役所の議場で

鯖江市議会は、市役所の議場で傍聴することができます。



You Tubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。
＊下のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで視聴できます。



こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。
＊掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。

第452回 9月定例会(8月27日～9月19日:24日間)



たなか よしゆき そうそう
田中 良幸 (創造)



嚮陽会館をめぐるワイプラザとの協業について

問 8月半ばの嚮陽会館複合交流施設整備特別委員会で、嚮陽会館の中に入っていたハローワークの移転に伴い、隣接しているワイプラザとの間に通路を造るという話が急に報告された。いつから話を始めたのか。

答 本年3月に交渉をスタートさせた。

問 ハローワーク移転の話がなければ、ワイプラザとの協業の話はなかったのか。

答 ハード施設整備に関する相談は予定していなかったが、運営面に関する協業については想定していた。

意見 隣接のワイプラザと嚮陽会館が繋がること自体は歓迎

すべき話。お互いが助け合い、ウィン・ウィンの関係ということになる。しかし、その話がなぜ今なのか。例えば、福井市はアオッサの中に施設を借りているし、越前市もそうで、民間施設との協業の例はたくさんある。嚮陽会館の新駐車場については、芝生を削ってキャパシティを増やすとされている。それもコスト増に繋がる。一方、ワイプラザには大きな駐車場があり、2階部分は今閉めている。それらを嚮陽会館使用者に使わせて貰えるような話を最初になぜ持ちかけなかったのか。話がまとまれば、また見える風景が違ってくる。改修計画の立ち上げの時点で、周辺施設との協業関係を考え、話もしていないのはとても残念。周辺エリアとの機能棲み分けという、「面」で考える視点がない。建物単体の工事ばかりに頭がいつている。

【次回】12月定例会日程(予定)

日付	会期日程	こしの都TV9チャン放送予定 旧:丹南ケーブルテレビ
11月26日(水)	10時 本会議 (決算審査報告・採決、提案理由説明)	生放送
28日(金)		18時 再放送 (11/26本会議分)
12月8日(月)	10時 本会議 (質疑、代表・一般質問)	生放送 ※093ch
9日(火)	10時 本会議 (一般質問)	生放送
10日(水)	10時 本会議 (一般質問)	生放送
11日(木)	9時30分 常任委員会	18時 再放送 (12/8本会議分)
12日(金)	9時30分 常任委員会	18時 再放送 (12/9本会議分)
15日(月)		18時 再放送 (12/10本会議分)
19日(金)	10時 本会議 (委員長報告、採決)	生放送
22日(月)		18時 再放送 (12/19本会議分)

※進行状況により時間の変更が生じる場合があります。
※委員会の放送はありません。

2つの特別委員会が始動

特別委員会とは？

特定の問題について集中的に審議するために議会が設置する委員会です。
常任委員会の枠を超えて、調査や審査を行います。

決算特別委員会

委員長 江端 一高

副委員長 三村 尚司

※議長、監査委員を除く全議員で構成

議会等改革推進特別委員会

委員長 加藤 優

副委員長 土田 光

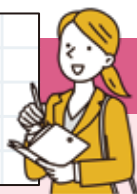
石川 修 帰山 明朗

林下 豊彦 西野 有香

三村 尚司

議員の視察とは？

自治体が抱える問題解決のヒントを得るため、先進的な取組を行っている自治体や施設、企業などを訪問し、研修や意見交換を行います。得られた知識や情報は、市に持ち帰り市政の発展と向上につなげています。



国立大学法人 琉球大学 『DX推進に向けたデジタル人材育成事業について』

琉球大学では、文部科学省の補助金を活用して「RICCA DX」という動画配信システムを公開し、誰でもDXについて学べる仕組みを作っている。市民の暮らしやすさに直結するDXを推進するため、市役所内の各部局の業務フローを洗い出す必要性を学んだ。



道の駅「かでな」にて



琉球大学にて



南城市議会議場にて

札幌駅前通まちづくり株式会社 『官民連携によるまちづくりについて』

札幌駅前通まちづくり株式会社では、札幌駅前通地区のエリアマネジメントや地下空間を活用したまちづくりに取り組んでいる。株式会社であるが、収益は株主に配当せず、まちづくり活動に還元し、新たな活動へと発展させている。鯖江市でも鯖江まちなか交流・にぎわい協議会が立ち上げられ、今後様々な取組が進められると思うが、広告やイベントを活用したまちづくりによって、まちなかの交流やにぎわいの創出につなげてほしい。

北海道江別市 『江別市都市と農村の交流センター「えみくる」について』

「えみくる」は、農村地域と都市部の間に位置しており、農家と都市部の市民との交流や農村地域のPRを目的に設立された。えみくるには、調理実習室やテストキッチンをはじめ、研修室、体育館や野球場などを備え、毎年多くの方に利用されている。また、食育事業を通じて交流人口の拡大に寄与している。地産地消や6次産業化の推進など、規模は違うが、鯖江市でも取り組む必要がある。

東京都武蔵野市 『武蔵野プレイスについて』

図書館・生涯学習支援・市民活動支援・青少年活動支援の4つの機能を併せ持つ複合施設として、2011年に開館。多世代が自然に交わる心地よい空間で、特に地下の青少年フロアは自由に安心して過ごせる第3の居場所として機能している。鯖江市の複合化計画にもデザイン・運営・世代間交流のバランスを兼ね備えた先進事例として大いに参考になる施設である。



府中市子育て世代包括支援センター「みらい」にて



株式会社LITALICOにて



武蔵野プレイスにて



iOFT国際メガネ展にて

委員会で先進地を視察しました

沖縄県嘉手納町 『道の駅「かでな」を活用した交流人口増大、地域振興拡充などの取組について』

嘉手納町は町内の82%が広大な米軍基地。道の駅「かでな」は米軍嘉手納基地に隣接する全国唯一の道の駅。観光の拠点であるとともに展望台から基地を望みながらその役割などを学ぶ「平和学習拠点」ともなっており、施設を観光・平和学習・人口増加など地域振興・経済活性化の拠点として多面的に活用。全国から多くの人々が訪れている。鯖江市でもこうした考え方や取組が今後重要と再認識した。

沖縄県南城市 『業務効率化ツールの活用による文書作成や情報整理支援について』

市民が使いやすいLINE公式アカウントの取組が印象的であった。鯖江市のような情報発信だけでなく、健診や講座の予約、バスのデジタル乗車券や各地区に絞った配信までもがLINEの中で簡単にできる仕組みになっており、市民にとって便利になるだけでなく、職員にとっても窓口対応や書類処理の負担が大きく減り、業務の効率化につながっている。こうした「市民にも職員にもやさしいDX」を、鯖江市でも推進していけたらと思う。

北海道札幌市 『円山動物園の施設整備と運営管理体制について』

エサの与え方や展示施設の住環境について、動物に対するストレスが緩和されるような飼育環境を作っている。西山動物園も開園40周年を迎え、今後改修の話が出てくると考えられるが、展示されている動物にとって住みよい環境を考慮した施設を作ることが大事である。また、札幌市動物園条例を参考に、西山動物園版の条例制定も考察が必要である。



札幌駅前通まちづくり株式会社にて



「えみくる」の研修室にて



札幌市円山動物園にて

東京都府中市 『府中市ヤングケアラープロジェクトについて』

日本財団のモデル事業として一般社団法人とタッグを組み、ヤングケアラーの課題に対して全国でも先進的な支援体制を整えている。丁寧な実態調査を行い、支援の流れをまとめたヤングケアラーサポートブックを作成。研修や啓発イベントの定期開催や、SNSなど様々な方法での相談支援を行っている。鯖江市でもヤングケアラー問題について、早期の取組が必要である。

株式会社LITALICO 『LITALICOジュニアについて』

障がいのある人や発達に特性のある子どもが自分らしく働き・学び・暮らせる社会の実現を目指し、関東圏を中心に全国で支援事業を展開している。支援が必要な子どもや若者を理解するだけでなく、保護者や教育・福祉関係者がどのように関わるべきかを明確にできる仕組みがすばらしく、鯖江市での支援の在り方を考える上で参考になった。

iOFT国際メガネ展 『障がい者および子ども用メガネについて』 『介護現場での安全性・快適性を第一に考えたフレームについて』

福祉分野の眼鏡製品を視察。成長や体勢に合わせた調整ができ、安全性・快適性を重視した工夫があり、利用者のQOL向上も期待できる。子どもの弱視の早期発見の大切さについても説明を受けた。福祉分野での眼鏡やその取組の重要性を再認識した。

あなたの写真で表紙をかざってみませんか

あなたの写真が表紙になります！ 鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください。
表紙に採用された方には、素敵な商品（地場商品など5,000円相当）をプレゼント！
次号（2月25日発行）にぴったりの写真をお待ちしています。

- 応募する写真 鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真
- 応募方法 右のQRコードから必要事項を入力してご応募ください。
- 次号の応募締切 令和8年1月9日（金）



応募フォーム



今回の 応募作品 （一部）



高柳 誠喜 さん



特別賞

YTK 応援団 さん



T・T さん



ナング ミホ さん



ちとちゃんのパパ さん



むむちゃん さん



W. M さん



大越 海青、珀空 さん

編集後記

今回は紙面の構成やデザインを見直し、市民の方に興味を持っていただけるよう、より読みやすく分かりやすい誌面を目指しました。また、委員で意見を出し合いながら、議会の動きを身近に感じてもらえるよう工夫を重ねました。
ご意見などございましたら、届けていただけると幸いです。

広報副委員長 酒井 ゆきこ

今号は、9月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。